



2024. 5. 16

マレーシアからの視察（附属大塚）

マレーシアの先生方による附属大塚特別支援学校の視察がありました

令和6年5月16日に、JICA マレーシア海外協力隊より依頼を受け、附属大塚特別支援学校の視察が行われました。マレーシア国立大学及び政府関係者、障害児早期療育センター代表など6名が来校し、附属大塚副校長と当グループ員が学校の紹介を行い、意見交換をしました。

佐藤副校長から学習指導要領に基づいた教科の授業づくりや、個別の教育支援計画、指導計画の活用について説明を行い、校舎内の見学をした後、「ミライの体育館」の体験や車庫をリノベーションした「えがおカフェ」(<https://www.otsuka-s.tsukuba.ac.jp/page7.html>)の紹介もいたしました。

日本のインクルーシブ教育システムにおける知的障害教育の特徴や、附属大塚の実態の異なる児童が一斉授業で学び合う授業づくりやカリキュラム、児童一人一人が役割を担って活動する授業の様子や教室内で実際に使っている学習教材などに大きな関心を持たれたようで、たくさんの質問をいただきました。

当日、小学部では、小石川消防署からの協力のもとで毎年行っている「働く消防写真会」が行われていました。校庭に来た消防車と消防士を見て画用紙いっぱいに描く児童たちに見学者が言葉をかけ、児童も絵を見せたり英語で挨拶をしたりハイタッチをしたりと、嬉しそうに応じる様子が見られました。校内でも見学者と幼児児童生徒とが互いに気さくに話しかけやりとりをする様子がたくさん見られ、附属大塚の幼児児童生徒にとってもよい交流の機会を得られた1日でした。



消防車の絵を描く児童たちと



教室での教材見学



ミライの体育館(ペインティングゲーム)



えがおカフェでのひととき

